News Release

あしたを、つなぐ 野村不動産グループ

報道関係者各位

2026 年 11 月 12 日
野村不動産株式会社

リリースカテゴリー：ロジスティクス

高機能型物流施設「Landport」が有する空間やインフラを活用

データインフラ需要に対応する「コンテナ型データセンター事業」を開始

― AI・シミュレーション需要に対応、物流施設を活用した分散型デジタルインフラを提供 ―

本ニュースリリースのポイント
1. 高機能型物流施設「Landport」の空間・インフラを活用し、コンテナ型データセンター事業を開始
2. 「Landport 高槻」にコンテナ型データセンターを設置・GPU サーバーを保有し、ホスティングサービスを提供
3. 生成 AI の普及や GPU 計算基盤需要の拡大などを背景に、高性能なデータインフラニーズに対応
4. 本案件を契機にデータセンター事業へ参入し、全国での事業機会の拡大を目指す

野村不動産株式会社（東京都港区／代表取締役社長：松尾大作）は、高機能型物流施設「Landport 高槻」（大阪府高槻市）において、コンテナ型データセンター事業(以下、本事業)を開始することをお知らせいたします。本事業では、Landport 高槻敷地内にコンテナ型データセンターを設置・GPU※1 サーバーを保有したうえで、お客様に GPU 計算基盤を提供するホスティングサービス事業を展開いたします。



【完成イメージパース】

※1 GPU（Graphics Processing Unit）：画像や映像の処理を得意とする半導体。多くの計算を同時に実行できるため、近年は生成 AI や機械学習などの高度な計算処理を支える技術として活用されています。

1. 本事業に取り組む背景

近年、生成 AI の普及やモデルの大規模化・高度化に伴い、AI 開発や機械学習、シミュレーションなどに活用される高性能な GPU 計算基盤への需要が急速に高まっています。こうした需要の拡大を受け、ハイパースケール型をはじめとする大規模データセンターの開発が進む一方で、用途や立地条件、導入スピードなどに応じて、より柔軟かつ機動的なデータインフラへのニーズも高まっています。また、データセンターの在り方についても、特定地域に集約する大規模集中型に加え、需要や用途に応じて複数拠点へ分散配置する形態の重要性が高まりつつあります。

当社はこうした市場環境の変化を捉え、高機能型物流施設「Landport」が有する空間やインフラを活用したコンテナ型データセンター事業を開始することといたしました。短期間・小規模・低コストで開発可能なコンテナ型データセンターを展開することで、拡大するデータインフラ需要に迅速かつ柔軟に対応してまいります。

２．コンテナ型データセンターの概要

コンテナ型データセンターは、GPU サーバー、ネットワーク機器、冷却設備等をコンテナ内に集約した小型のデータセンターです。従来の建物型データセンターと比較して、短期間・低コストで構築できるほか、既存施設への設置や用途に応じた柔軟な拡張が可能です。また、消費電力もキロワット単位の小規模利用からメガワット級の大規模利用まで幅広く対応できることから、AI 利用の拡大やデータ量の増加など、多様化する GPU 計算基盤ニーズへの対応手段として注目されています。GPU サーバーは大量のデータを並列処理でき、AI・機械学習・画像処理・シミュレーション等の高負荷計算に適しています。

３．本事業の概要と今後の展開

本事業では、高機能型物流施設「Landport 高槻」の敷地内にコンテナ型データセンターを設置し、AI・機械学習、シミュレーション、映像処理等に対応する GPU 計算基盤を提供します。設置するコンテナ型データセンターには高性能 GPU サーバーを複数台搭載し、当社がコンテナ設備およびサーバー機器を保有します。本事業は、物流施設の空きスペースや既存インフラを活用した新たな価値の創出につながる取り組みです。また、拡大する AI・データ処理需要への対応を通じて、新たな顧客層との接点創出やデータインフラ領域における知見の蓄積を図ります。

今回の計画では、AI 需要への対応を目的とし、NVIDIA 製 GPU（Blackwell Ultra）搭載サーバーを 32 台設置する予定です。また、大阪・京都都市圏に近接する立地を活かし、AI 利用に加え、低遅延性や運用利便性が求められる多様な用途での活用が見込まれます。

今後は、本事業を通じて得られた運営ノウハウや顧客ニーズを踏まえながら、全国の「Landport」シリーズをはじめとする幅広いエリアへの展開を検討するとともに、物流施設やエネルギー事業との連携を進めながら、データセンター開発を推進し、データインフラ領域における事業の拡大を図ってまいります。

■本事業のコンテナ型データセンターの概要

設置場所	Landport 高槻（大阪府高槻市芝生町 1-52-1）
消費電力	約 710kW うち、IT ロード約 520kW
冷却方法	DLC（Direct Liquid Cooling）
GPU サーバー	NVIDIA 製 GPU（Blackwell Ultra）搭載サーバー
GPU サーバー台数	32 台
所有者	野村不動産株式会社
設計・施工	株式会社ミライト・ワン
保守管理	株式会社ミライト・ワン
工期（予定）	約 8 カ月
稼働開始予定	2027 年夏頃（予定）

Landport 高槻 HP https://www.nomura-landport.com/takatsuki/

【ご参考】インフラ・インダストリー事業本部について

当社は、2026 年度にインフラ・インダストリー事業本部を新設し、物流施設、データセンター、エネルギー、工場など、社会・産業インフラを支えるアセットの開発をこれまで以上に強化する体制を構築しております。

行政、地権者、事業パートナーなど多様な関係者をつなぐコーディネーター機能を発揮し、社会課題の解決と産業基盤の高度化に資する開発を推進することで、当社が目指す「次世代産業を支えるインフラ・インダストリーデベロッパー」への進化を図ってまいります。

インフラ・インダストリー事業本部 HP： https://www.nomura-landport.com/iid/

※本ページは本日公開予定です。公開状況により、閲覧可能となるまでお時間をいただく場合がございます。